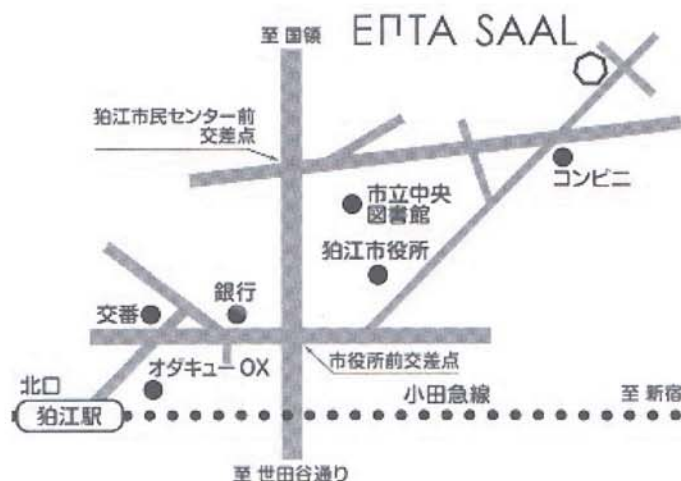


野口マリ子 (Flute)

桐朋学園大学音楽学部演奏学科フルート専攻卒業。同大学研究科フルート専攻修了。これまでにフルートを、峰岸壮一、甲籐卓雄、高野成之、大木淳子の各氏に、室内楽を藤井一興、鈴木良昭、高野成之、小澤英世の各氏に師事。2004年、日本フルート協会デビューリサイタル出演。2005年ドイツ オーベルストドルファー国際音楽祭に参加し、ギャビーパス ファンリート氏に師事する。2008年、第八回日本アンサンブルコンクールにて全部門中最も印象に残った一組に選ばれアンサンブル特別賞を受賞し、受賞者演奏会や日本アンサンブル協会主催の演奏会等に多数出演。同年、第八回大阪国際音楽コンクール デュオ部門第三位。(1位なし) また、文化庁によるブラジル移民100周年記念事業で渡伯し、サンパウロ、ロンドリーナ、クリチーバの3都市での公演に参加する。現在室内楽を中心に幅広い活動を行っている。



高橋 舞 (Piano)

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルテウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了。バッハに関する修士論文は最高評価を獲得。そのほかに同大学院にて1台4手を、チェンバロと室内楽をウィーン国立音楽大学にて学ぶ。2005年イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツァルト・イヤーにはザルツブルガー・ゾリステンとモーツァルトのピアノ協奏曲第12番 K.414を共演。同年ザルツブルクのミラベル宮殿マルモア・ザールにてイェルク・デームス氏と共演する。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。2008年3月銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」にて好評を得る。2008年からテーマを持ったレクチャーコンサートを続け、毎回評判を呼んでいる。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座にて講師を務める。2010年9月 sonorium でのコンサートは「ショパン」紙上で大きく取り上げられた。校訂・解説を手掛けたバッハの「フーガの技法」(チェルニー版)が、2010年7月ヤマハ・ミュージックメディアより出版。2011年2月には第2弾として、校訂・運指・解説を手掛けたバッハの「7つのトッカータ」が出版される。

高橋 舞公式サイト <http://mai-takahashi.com/>